# 京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

## 京城雜感　片々生

◎基督教界の名士　植村正久氏來る、去る廿日の夜旭町の一致教會に詣で、久し振にて彼の說教を聽聞致し候、不相變辨は訥にて所感を充分に說く能はず所謂隔靴掻痒の感なきに非ざるも、何となく人を動かすの力あるは彼の長所に候はむ、彼の說教により眞摯誠意は雄辨に優るとの感端なく湧き申候、總じて其所說毫も世の牧師連と異りて所謂基督教型(敢て型と云ふ)の抑揚なく率直に吐露さるゝは喜ばしく候、併し彼は海老名、宮川等の如き口の人に非ず、筆に生ずるの點に於ても頗る趣きを異にす彼は牧師としてよりも文章家として世に知らる、今や老いて往年日本評論なる雜誌を刊行して政治及宗教に關する雄篇を草したる如きも福音新報に諄々として教理を說く其論文は眞に金玉の名文字に候、惟ふに現今の基督教界に於て筆を採ては彼の右に出づるものなかるべしと存候、

●閑話休題　彼の話題は基督教の回心談、回心の意味を說て曰く、英語のコンボルション、佛法の回心、則ち心靈の革命なりとてトマスカーライルの說を引證し、或は基督の譬話、寶物を藏せる土地買を引證し、或はウエスレイの發憤を說き、或は英國のキングスレイに於ける昔時羅馬人の屯營時代に屋下に埋沒散亂したる野花の種が日光を受けて幾百年後に萌芽したることを引證して人類の宗教心なるものゝ亦斯の如きのみと論斷する處、無理なく附會なく、如何なる聽者も公平と思はれ亦能く會得致さる可く候、基督教牧師の說教にも、佛教僧侶の說法にも其引例等が往々附會の事有之所謂我田引水の多きには何人も閉口する所なるが、植村氏の引例は眞に穩當にして此跡なきは喜ぶ可く候、惟ふに是れ彼の學殖深く該博なるが爲なるべしと被思候、而して更に彼に取る所は勿体ぶらず坊主臭からざる所に候、味噌の味噌臭きは賞す可らざる如く、坊主の坊主臭きは好ましからず當世の坊主(を云ふ)若し坊主にして脫俗超化ならば決して坊主臭からず候、此點に於て僕は植村氏を嘉するものに候。

◎現今の牧師　中には其擧動身振り迄外國人に似ねていやに氣取るものを往々見受け申候、此種の人には傳道說教をなすにも識薄極ることを述べ、聽ぐに堪へざることあり、斯る牧師の導に依りて宗門に入る信徒の操行は何となく危まれ申候、僕は牧師の擇撰に注意するの必要を感じ居候、按手禮の濫與は最も愼むべき事に候、使徒の撰擇は神學や經驗に重きを置かずして第一に其人格に重きを置く可きものと被思候、聖職にある此使徒にして常人よりも操行の劣れる者なきに非ずと聞及候、斯る人物によりて宣傳さるゝ福音には徹して顰くものに候

## 文苑

●在韓十有三年　百代

朝鮮三界迄流れ來て苦勞をして居るといふと何となく聞わが惡いが海外發展の雄志を抱き粉身碎骨異域に奮鬪して居るといふと誰が聞いても立派だ、併し僕等は渡韓后十有三年になるが何物も得ない、殆んど醉生夢死だ他人に「何年おいでゝすか」と聞かるゝと平氣で「十三年」と答ふるが其の實心ひ中では恥かしい、といふのは外でもないが世間の人は誰でも「ナゼ其の長き月日の間に金を儲けなかつたか」と思ふからだ月日以皆な之に歸するやうだ

金…………朝鮮在來の在留邦人の感想

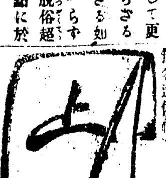
●小供の感化　水月

近所の風儀が惡いのだらう、僕の隣家の小供は近來サノサ節やらラッパ節の俗謠を回らぬ舌もて唄ふ四邊の感化は怖ろしいものだと今更ながら心に思ふた僕は妻とも相談の上早速他へ移轉した、併し餘りに小供の自由を束縛するのも感心しないから時々は玩具も買つてやり、活動寫眞などへも連れて行くが唯此の間江川眞吉の足藝を見せに行つたら奴さん歸つてからゴロリと仰向になりさま兩足を空に擧げ頻りに此の上へ何か乘せろと手似でブレとなく促すのである、僕は笑ひながら兩足を左手で支ひいろ/\なものを積上げてやつた、小供は嬉々として喜んだ

## 新刊紹介

●滿韓旅行案內　編輯の仕振りは最初顧實文藝を載せ次に滿韓の地理所在官衙銀行會社等の口碑を示し次に滿韓汽船の時間表を掲げ最後に旅行日誌及收支錄を綴り込みたるが滿韓の旅行者に取つては便利此の上もなし(一號十五錢大連町岩代町南滿洲社)

●無名通信　「淺薄なる陽明學の流行」「政黨幹部ノ楞下し」「立憲政体亡國論」等は黒人ハ眼にも面白し(十一錢東京々橋區築地無名通信社)



## 佐倉宗吾　(百十三)　眞龍齋貞水講演

ハラ/\と涙を流して宗五郎が、宗「恐れ多くも將軍家を驚かし奉りし程の大罪を犯せし此宗五郎を、斯くまで御憐愍を御加へ下し置かれます段、死すとも忘れは致しませぬ、貴下様よりして、上々様御役人様へ、宜しく宗五郎御禮を申し上げますに依つて御取做し願ひ上げます」と、威儀を正して兩手を支へて潸然と涙を流した時には、御掛の人々も、共に涙を流して、「惜むべき所の、義俠に強き此宗五郎を、堀田家へ渡す事か」と、遂に御引渡に相成りました時、堀田家役人に對し、公儀の御役人が「隨分勞つて遣はせ」と仰せられました、是れから宗五郎を引取つて、堀田殿の上屋敷へ連れて參りますと、其夜の内に支度に及び、宗五郎は御國表へ其晩の内に送りました、御國表に於ては、宗五郎を重き處刑となすことに成つて居りますから、鹿島口と云ふ處へ牢を拵へ、此處へ宗五郎を容れ置きました、サア宗五郎が國へ送られたと云ふことに成ると、毎日/\鹿島口へ百姓が來て宗五郎に面會をしたいと願ひ出る者が、何十人となくございます、と云ふのは、宗五郎の義俠のため、御取立が寛大になると思ふから、心ある者は爭つて宗五郎に面會なして、一言なりとも禮を述べやうと云ふのでございます、誠に是が人情の常でございます、此の如き有様でございますから、之を國表役人から江戸表役人へ對し、宗五郎には此の如く人々が心を寄せ居ると申し上げる、此事を御聞き遊ばしても上野介様は寛典の御處刑であるべきであるが、何うして上野介様は、それがため六万石を削られたと云ふ處から恐ろしい勢ひで、既う此の御怒りは、心頭に徹して居るから宗五郎を御國方へ送りました翌日戸永五郎兵衛殿が、御前へ出でられまして「恐れながら御上へ申し上げ奉る、諄くも申し上げ奉るやうな譯でございますが、大公儀諸役人様、御評議を承りまして、宗五郎一人は御處刑仰せ付けられましても然るべきを存じ奉りまするが、併がら妻子は一向存ぜざる儀なれば、何の御咎めもなく、且つ其子供成人の後は、村役仰せ付けられ、上の御仁德に有難がらせて、御奉公を一層勵むやう御寛待相成り、此事御國表へ御申し遣はしは如何でございませう」上「默れつ、惜き奴は宗五郎なり、予が父上より承継ぎたる十八万石も瑕瑾つけしも彼か所存からなり、妻子は勿論の事、彼が一家親類、磔らず、重き處刑に行ふ所存であるぞ、其方兎や角う申すに及ばぬ、控ゑて居ろ」宛然嚴狂ひの有様、そこで是非なく御暇を願ひ、戸永五郎兵衛御小屋へ退ると「ア、もういかぬ、最早には川越播磨、堀田大和の両名が、御諫め申して切腹なしたれど、御改心の御様子更に是なく、今また斯くの如き次第、最早御當家は、近きに滅亡疑ひなし、生き存ねて、此滅亡を見るよりも、潔く切腹なし、冥途黄泉に於て、先君に御詫を仕るより外はない」と、茲に戸永五郎兵衛は到底殿御改心これ無きを見抜き、其夜切腹なして相果てました、御家のため、十分の御役に立つべき所の戸永五郎兵衛が最後を遂げたから、心ある御家中の者は、眉を顰めました、茲に堀田家の柱石とも謂ふべき二人の忠臣を、此度の一件にて亡ひましたから、愈よ殿様御嘆きあるかと思ひの外、左様かと仰つしやつたきり、何の一言もなく、國方へ對し、宗五郎妻子を縛捕つて、共に牢舍へ打込めと云ふ仰せ、此事に付いましては、種々に申し上げたる家臣もありましたが、何人が何と云つても御用ゐがない、恐れ多くも御大老の一言も、上野[illegible]院殿の一言も、御用ゐ是無き上野介殿だ依つて、無論家來の云ふ事などは御用ゐがない、愈よ宗五郎妻子の者、御[illegible]事に成りまして、茲に油永五郎左衛門、中[illegible]宗四郎と云ふ二人へ、嫡捕の役目を仰付けられました



京城新報

## 曾禰統監を迎ふ

副統監たりし曾禰子爵は今や統監の印綬を帶びて威容堂々として韓京に入る、其間僅少の日子なれども殆ど隔世の感なきに非ず、內外人の視線は一齊に新統監の上に集注せらる、其光榮の大なると共に其責任も亦頗る重大也。子が就職以來隨所に語られたりと傳ふる所謂施政方針なるものは概して妥當と云はざる可らず。世人は子が伊藤公の政策を大体に於て踏襲することに慊らざるもの〻如しと雖も、是れ桂內閣の立場と子自身の立場に於て止むを得ざる事なるべし、然れども細目に至りては變更する必要あらんと語らる〻所を以て見れば、曾禰一流の鋒鋩は必ずや茲に發露さるべき也。素より統監政治を根本的に改善する能はざるべしと雖も、鬱屈せる統監政治に幾分淸新の氣を與ふることあらむ、有は無に優さる、假令滿足すべき改善は望み得べからざるも、幾分の改善にてもあらば更に改善せざるに優らむ。加之更迭其者が幾分更改を意味す曾禰子にして無爲に化せんとするも、四圍の大勢は之を許さず、子が得意の雄斷をなさゝる可らざる場合に遭遇するの時あるを信ず、斯の如くにして二期の統監政治に幾分の進境を見るに至るべし。余輩は如上の點に於て謹で曾禰統監の來任を歡迎す。

### 伯林電報

▲梨本宮御來韓　目下巴里に御滯在中の梨本宮同妃兩殿下には本月下旬御出發西比利亞を經て滿韓御視察の上御歸朝遊ばさるべし（廿二日東京經由）

### 北京電報

●渾春稅關設置　東三省總督は渾春に稅關を設置するに就き調査を終了し中央政府に具申したれば早晚設立さるべし

▲プ島所屬決定　プラタス島は愈々淸國領と決定し淸國政府より西澤に賠償金を與ふる事に決定したり（以上二十二日午前發）

### 東京電報

▲伊藤公渡韓期　伊藤公は來る廿九日東京出發渡韓の途に就く滿韓は一週間の豫定なり（二十二日午後發）

▲損害救濟問題　本日日露戰役に於ける個人損害救恤查定委員會を開き救恤方法に關する協議を爲せり（以上二十二日午後發）

### 雜報

●曾禰統監着京　既報の如く新任統監曾禰荒助子は二十二日午後七時無事南大門驛に着したり此より先き日韓官吏の重もなる者及び民間有志者並に新聞記者は停車場構內に整列し學校生徒及び諸種の團体は停車場前に整列し嚴肅に出迎ゐたるが統監には途中迄出迎ゐたる各參與官各部大臣及び村田外波の兩武官國分佐竹の兩秘書官其の他の從者を隨へ統監府より差し回はされたる馬車に乘じ儀仗兵に警衛されつゝ同七時四十分統監邸に入たり

●地方制度調査　內部にては地方施政の刷新を計る爲め李朝五百年以來の地方制度に關する沿革に就き目下頻りに調査中なりといふ

●曾禰統監謁見　曾禰新統監は二十三日午前十一時村田外波兩武官、國分佐竹の兩秘書官を隨へ昌德宮に參內仁政殿に於て韓皇に謁見し新任の挨拶を申上ぐる事に決したりと尙は其際韓皇には優渥なる勅語を賜ふべしと

●曾禰統監訓示　曾禰統監は廿三日各道書記官を統監府に招集して新任の披露をなすと共に地方行政に對し一場の訓示をなす筈

●韓國鐵道廳官制　十九日勅令を以て統監府鐵道廳官制を公布せられたるが要項左の如し

第一條　統監府鐵道廳は統監の管理に屬し韓國に於ける鐵道の建設、改良、保存、運輸及び附帶の業務を掌る

第二條　統監府鐵道廳に左の職員を置く
長官（勅任）▲事務官（專任十一人奏任）▲事務官補（專任八人奏任）▲技師（專任二十九人、內二人を勅任となすことを得）▲通譯官（專任二人奏任）▲書記（專任百四十七人判任）▲技手（專任百卅四人）

第三條　長官は統監の命を承け廳務を掌理す

第四條　長官は韓國駐劄軍司令官の要求に應じ軍事輸送其他軍事上所要の設備をなすべし

第十條　韓國鐵道の建設及び改良のため統監府鐵道廳に臨時左の職員を增置す
事務官（專任三人）▲事務官補（專任五人）▲技師（專任十三人、內一人を勅任となすことを得）▲書記（專任三十六人）▲技手（專任五十九人）

本令は公布の日より之を施行す統監府鐵道管理局官制は之を廢止す
尙同時に統監府鐵道廳職員官等俸與令及統監府鐵道廳職員特別任用令を公布せり

●義親王の參內謁見　義親王廿一日昌德宮に參內韓皇に謁見せり

●韓皇の秘園散步　韓皇には二十一日李總理以下各大臣を從へ秘園內暎化堂に散步ありたりと

●定例大臣會議開會　二十一日午前十時李總理以下各大臣（趙農相缺席）登閣定例大臣會議を開きたり

●前副統領の退京　既報の如く米國前副統領フ氏夫妻は二十二日退京仁川を經て大連に向へるが見送人多數なりき

●米國總領事の夜會　米國總領事は二十一日夜同館に永宣君、閔宮相、李學相、高法相、尹侍從院卿其他を招待し晩餐會を開きたりと

●京城民團の歡迎　京城民團を代表して熊谷民長は統監が成歡驛に出迎へ民團議員及商業會議所議員は南大門迄出迎へたり

●東拓訴訟辯論期日　東洋拓殖會社第一總會無効宣言請求の訴訟は來る七月六日午前九時より京城理事廳裁判所に於て口頭辯論を開く由

●改版一銀兌換券　改版第一銀行五圓兌換券は來る七月一日より發行を認可する旨度支部告示第五號を以て二十二日發表されたり

●東拓總裁の出迎　宇佐川東拓總裁は二十二日午前九時南大門發列車にて成歡驛に赴き曾禰統監を迎へたり

●對元帥陸軍禮式　駐韓軍隊にては曾禰統監に對し元帥に準ずる陸軍禮式に依り南大門停車場に步兵約一大隊砲兵若干名を派し儀仗兵として騎兵一小隊を附衞し尙砲兵隊は十九發の祝砲を發したり

●一銀引繼條件（詳報）　韓國中央銀行と第一銀行間に於ける營業引繼條件の概要は前號に報ずる所ありしが其全文は左の如し

韓國中央銀行設立に就き株式會社第一銀行との間に於ける權利義務承繼に關する覺書

一、韓國中央銀行は株式會社第一銀行發行に係る銀行券除却の義務を承繼すること
二、株式會社第一銀行は正貨準備を前項引繼と同時に無償にて韓國中央銀行に引渡すこと
三、保證準備發行額に就ては株式會社第一銀行は左の條件に依り韓國中央銀行へ年賦償還すること
　イ、年賦償還期限　二十箇年
　ロ、現在保證準備に充てたる有價證券等は韓國中央銀行へ擔保に提供すること
　但し償還額に應じて擔保を解除するものとす
四、株式會社第一銀行は營業上一切の權利義務を特別の事情あるものを除き其權利に附隨せる擔保物及び證憑書類等と共に之を韓國中央銀行に引繼ぐこと
　右引繼を受けたる債權中回收不確實なるものに對しては株式會社第一銀行に於て韓國中央銀行に對し保證の責に任ずること
五、株式會社第一銀行は營業用地所建物を韓國中央銀行へ引繼き韓國中央銀行は其代價を即時に支拂ふこと
六、韓國中央銀行は株式會社第一銀行に於ける現在使用人を總て引繼き使用し其身元保證に關する一切の權利義務を承繼すること
七、若し株式會社第一銀行に於て一二の支店出張所等を存置するの必要あらば韓國中央銀行の營業の妨害とならざる樣努むること

明治四十二年六月十四日
度支部次官　荒井賢太郎
株式會社第一銀行頭取　澁澤榮一

●親蠶收繭の現高　廿一日韓皇、韓皇后は宮中親蠶所に於て收繭式を行はれたる事は既記せし所なるが收繭高は蟻量一匁二分に對し四斗五升七合五勺ありたりと

●出張所設置の場所　東拓會社の經營せる土地は主として地方に散在せることなれば早晚適當の地に出張所を設立する筈なるが載寧及舊馬山には出張所を置くに至るべしと云ふ

●一進會の會則改正　一進會は去る十九日通常評議員會を開き會則を改定することに決し調査委員を選擧したるに委員長に洪肯燮委員に李範吉、尹定植、崔東燮、朴魯學、高駿の五名を撰み目下草案起草中なりと

●木內次官と道書記官　木內農商工部次官は廿二日午前十一時より各道書記官を農部大臣室に招集し一場の訓示演說を爲し尙地方狀況に關する道書記官の意見を聽取し午后一時後散會したり

●國有森林の引繼　韓國に於ける森林の大部分は帝室有なりしも右は昨年國有に編入する事となり爾來臨時國有財產整理局に於て所屬判定中なりしが今回農商工部に引繼ぐ事に決定し目下引繼手續中なりと

●京商議員候補者（三）

池田長次郎君

君は福岡縣の產、少にして土地の中學に業を修め後裁判所の書記として精勤しつゝある中に炭坑界の偉人貝島太助氏に知られ弱冠にして所轄坑山の會計主任に重用された、されど性來獨立自持の氣象に富んで居る君は他人の配下に屬するを屑しとせず居ること數年にして貝島氏の許を去り單身ある坑區を手に入れ刻苦精勵寢食を忘れて之を經營したが天未だ君に幸ひする所なかりしか事は志と違ひ失敗に失敗を重ねて大分窮苦の境に陷つた依つて已むなく旗を卷き劍を收めて城郭を他人の手に委し東都に上りて靜かに機運の到來を觀望しつゝある中に日露の外交破裂したれば機逸すべからずとなし三十七年二月軍屬として仁川に上陸し越て三十八年職を罷めて京城旭町一丁目に居をトし質商を開業し以て今日に至つたのである、而して現今では京城の居留民中氏を知らざるものなく君も亦居留地の爲めには專心努力し毫も倦色がない、蓋し有數の實業家たるを失はぬ

●韓皇の陪食と統監　韓皇は二十三日公式謁見終了後正午より仁政殿東行閣に於て曾禰統監及隨員に陪食あらせらるゝ由なるが李總理以下各部大臣宮內府大臣尹侍從院卿、小宮宮內次官、高禮式課長も陪席する筈

●鐵道廳各課任命　統監府鐵道廳にては新官制により昨二十二日左の如く各課の任命ありたり

技師　石川石代
技術に關する監督を命ず
事務官　今藤慶太郎
庶務經理に關する監督を命じ經理課長に任ず
事務官　岡正矣
營業に關する監督を命じ運輸課長に任ず
任工作課長　事務官　横井實郎
任建設課長　事務官　遠藤藤吉
任工務課長　事務官　稻垣甚
任庶務課長　事務官　瀧脇熊太郎
任龍山鐵業事務所長　事務官　宇都尾謹親

●統監邸の晩餐會　曾禰新統監は二十二日午后入京後大久保軍司令官、西島師團長、渡邊大審院長、國分檢事總長、池田通信管理局長、大屋鐵道長官、木內、倉富、小宮、岡の各次官、統監府よりは石塚、鍋島の兩參與官、中山、荻田の兩秘書官等五十餘名を統監邸に招き晩餐會を開く由

●社寺取締の方法　社寺に關する財產の管理及僧侶の取締方に就ては曩きに法令審查會に於て社寺財產管理規則案なるものを起案し之れを閣議に提出すべき筈なりしも荏苒今日に至りしが過日開會したる道書記官會議に諮問したる處各書記官の意嚮相一致せざるものありたれば內部は更らに各書記官歸任の上調查報告書を提出せしめ然る後之れが管理取締りに關する規定を制定すべしと

### 寄書

## 韓國中央銀行論（十五）

ケー、シー生

### 官本位民本位何れに重きを置くべきや

韓國中央銀行の營業は紙幣發行は主權發動の一種なり此點よりすれば中央銀行は一の官府なり手形の割引證券の買入預金爲替の事業は純然たる商取引なり此點よりすれば中央銀行は一の商人なり官府の資格を備へて商人の營業を行ふが故に本項の疑問は實際に於て頗る重要の價値を有すべく理事者が營業の重心を官民孰れに置くべきかは事前に於て余輩の江湖と共に攻究せざるを得ざる要問なりとす。何をか官本位と云ふ曰く官の御用を勤むるの意味なり換言すれば濫りに紙幣を發行して政府へ貸上金を爲すの義に外ならず又民本位とは如何曰く民間の金融調和を主眼とし紙幣を發行するの謂なり民間に向て妄りに放資することの意味にはあらず濫りに民間に放資を敢てせば投機射幸の獎勵となり泡沫事業の勃興を來し財界攪亂の基因たるべく大に戒心を要すべきなり、抑も中央銀行なるものは政府財政機關の一たるに相違なきが故に政府に向て貸上金を爲すは固より當然の仕業なるべきも其貸上の程度は必ず民間經濟に惡影響を與へざる範圍に限局せらるゝを要す政府へ貸金する場合には其借用證券を保證準備に充てゝ一方に紙幣を發行する迄の事なれば中央銀行に取りては最も有利の事業たるべしと雖此利益に惑亂して濫りに政府貸上金を行ふあらんか之に伴ふて起るべき必然の現象は通貨の膨脹にして其結果物價の昂騰となり輸入の超過となり一國の正貨は海外に流出して財界の信用を失墜し社會全般に害毒を流布すると共に中央銀行自身の占め得たる利益なるものも現實の利益にあらず單に帳簿上の空益たるに止まり自家滅亡の端を開くに至らん。余輩前後論述せる如く一國財政經濟の信用は一に正貨準備の豐富に依る正貨準備の豐富は國富の增進即ち產業の發展に依る而して產業の發展は金融の順潮に俟たざるべからざるなり金融餘りに緊縮なるも又餘りに緩漫なるも共に產業發展の途にあらず故に中央銀行は正貨準備の保護者として財政經濟の信用を保障せんとせば常に民間の金融を調和し其適順を保持することを以て營業上不動の方針と爲さゞるべからず政府貸上金の場合に於ても民間放資の場合に於ても一に民間金融調和に重きを置き紙幣を發行回收するには必ず民間の金融を本位として其利害得失を打算するを要す之れ自家の職責を全ふする所以たると同時に又自家の利益を永遠に保全する上乘の方策たるべし

●森林調査の進捗　韓國森林の面積に就ては曾て調查したることなかりしが農商工部に於ては昨年度より全國の森林地、成林地及材積等の調查に着手したる結果既に莞島及び麟蹄の二大森林の調査を終了し前者は五千町步後者は一萬八千町步の森林面積なる事を確めたるが又目下全羅北道方面の森林調査中なりと云ふ

●麟蹄森林の拂下　韓國三大森林の一たる江原道麟蹄山は仁川の穎原某氏に拂下げらるべしとは世間の噂なりしが此程愈々農商工部との間に契約を結びたる由其拂下條件は向ふ十箇年に伐木し價十八萬圓（年一萬八千圓）立木の種類は樅、松、栗最も多く其他は雜木にて目下政府は今年度分の材積、區域調查の爲め技師を派遣しある由同森林は元宮內府建築用材地として伐木を禁止したる所謂封山なりと電通は報せり

●石塚長官代理の出迎　石塚長官代理は廿二日曾禰統監を太田驛迄出迎たり

●大每社長入京期　大坂每日新聞社長本山彥一氏は二十二日大阪出發、滿韓及び西伯利亞地方巡遊の途に就く筈なるが先づ南韓地方を視察したる上來月四日頃來京の豫定なるを以て官民有志者間には同氏歡迎の協議中なりと

●郡守の資格審查　各觀察使の推薦に係る郡守候補者の資格審查は一兩日中地方官資格審查會に於て決すべしと

●俵學部次官の歸任　俵學部次官は廿四日午後東京發歸任の筈なり

●石川少佐の出發　濱松聯隊附を命ぜられたる元軍司令部附石川少佐は二十三日午前九時七分同山を出發し任地に赴きたり

●竹本少佐の着任　宮地少佐の後任として戶山學校敎官步兵少佐竹本竹次郎氏二十日着任せり

●若林總監の出迎へ　若林警視總監は曾禰統監出迎の爲二十二日永登浦へ出向せり

●深江廣吉氏の任官　同氏は今回韓國裁判所飜譯官に任せられ奏任四等に叙せらる

●叙勳　六月十七日韓皇より左の叙勳の沙汰ありたり
△太極章式部官勳三等蜂須賀正昭△勳二等太極章宮內屬高橋重久△太極章郡守山北長守△同五十嵐武正△同宮內屬岡本勝△勳三等八卦警視井田正忠△勳四八卦宮內省飜譯官武田尙△勳六八卦宮內屬石丸淸佐、同藤田乇八、警部岩元榮助、同增永誠郎△勳七八卦巡查部長長谷川鑑郎

### 公人私人

▲齋藤濱五郎（辯護士）二十一日平壤へ
▲本田幸介（水原勸業模範場長）收繭式へ列席の爲め入京中の處同日歸任す
▲下田杢一（東京水產講習所技師）原金[illegible]投宿中の處同日釜山へ

### 近事片々

▲昨日は舊曆端午の節韓人は天中の佳節として盛に祝ふ宮庭に於ても祝典の催あり
▲在留邦人間にも舊曆端午を祝ふ者多し
▲紅白の鯉幟の吹流軒頭に翻り中々威勢よし
▲菖蒲湯柏餅と武者人形男子を祝ふ祭として上々斯る祭日は何時迄も保存させたし
▲端午の祝節が如何に我武士道鼓吹に勢力ありしか斯る祭日は國民の元氣を涵養す
▲副統監として此間歸東せし曾禰子は今や正統監の印綬を帶び堂々として來任せり
▲統監となれば大した者特に光濟號に御召門を据へて搭乘せらる威嚴は倍恐ろしき樣
▲懷ふ伊公が統監として任復するや常に帝國軍艦を以て送迎したり懸隔の感や如何
▲人は勢に附く殊に韓人に於て然り曾禰子に對する行動眞に掌を覆へすに異ならず
▲統監となりて來る歡迎振に幾十倍す人情の機微を知る西湖大人抑も何の感か起る
▲乍併眞の威嚴は軍艦の送迎や儀仗兵に附く者に非ず眞の威嚴は唯夫れ人格にあり
▲豐太閤や奈翁は裸一貫にしても自然に威望備はる猿猴に錦着せても威望は加らず
▲曾禰統監の威望は今後の施政如何によりて加減せむ故に統監の奮勵を切望する也
▲韓人政客等新統監の方針略ぼ知れて運動の効力なきを悟り活動を中止せるは好笑
▲流石政權狂の根澤址鎔の一派も愈々斷念したるか二度と斯る白痴驅はませよ喝々
▲久し振に南山麓に統監旗翻へる聊か心強く感ぜらる儀旗の光は那邊に迄達するか
▲主人來りて綠泉亭も嘸や喜ばむ庭園の草花も亦笑を含まむ次に解語の花は如何？
▲久しく閑散なりし保護政廳も是より多少繁務を來たさむ這裏吏員諸君御苦勞に候
▲露獨兩帝の會見効顯餘りいやなこならず兩國民の反感を起す該報少々當て外れか
▲渡邊內藏頭の次官兼任は世の物議となる殊に樞密顧問兼任に於て世論は反對せん
▲世上の批難に當人辭退するかと思へば然らず飽迄兼任[illegible]せんと意張る度し難し

●浦鹽閉鎖後の清津　浦鹽の自由港閉鎖後の清津港は交通に於て頗る頻繁を極め[illegible]自由港を撤廢し[illegible]るも彼等關吏が種々の名目の下に不法の利得所謂一種のコンミッションなるものを殆んど公に強制せんとするが故に彼等淸國商人は其煩に堪へざるのみならず尙保稅貨[illegible]は約二割方騰貴し露貨の相場相次で下落し流通敏活ならざると同時に從來渾春、豆滿江沿岸方面へ移出しつゝありたる物資は前述の如き事情にて近時頗る減入し其減少し[illegible]仰ぐの狀勢となり現に頃日來渾春方面より淸國商人の商品仕入の爲め來津し、[illegible]由、燐寸、砂糖等を購入するもの頗る[illegible]

●新任郡主事　二十二日より前日に[illegible]說する迄[illegible]府郡課長は各主事の質問に答ふる所ありたりと

●咸鏡北道漁業將來　咸鏡北道に於ける漁業[illegible]改良を爲さば一ヶ年間に優に左の漁獲あるべしと
△鮭三[illegible]尾四万五千圓、△鯨二百頭十萬圓△[illegible]十万尾六萬圓△鯛三萬尾六千圓△[illegible]斤三[illegible]圓△[illegible]
合計九十四万二千圓
尙其他雜魚の收穫も亦鮮少ならずといふ

◎清國閉鎖後の清津

閉鎖後の清津港は交通に於て頗る頻繁を極めたれども自由港を撤廢し浦潮の自由港なるも彼等官吏が種々の名目の下に不法の税を得所謂一種のコンミッションなるものを始め…の露人さ公に強制せんとするが故に彼等清國商人は其煩に堪へざるのみならず密…課税…は約二割方騰貴し露貨の相場相次で下落し流通敏活ならざると同時に從來浦潮、豆滿江沿岸方面へ移出しつゝありたる物資は前…如き事情にて近時頗る減入し其減少し仰ぐの狀勢となり現に頃日來浦潮方面より清國商人の商品仕入の爲め來津し反物、燐寸、砂糖等を購入するもの頗る…りと

●新任郡主事 …十二日は前日に引續…說する所

●咸鏡北道漁業將來

府郡課長は各主事の質問に答ふる所ありたる咸鏡北道に於ける漁業は…改良を爲さば一ヶ年間に優に左の漁獲あるべしと△鮭三…尾四万五千圓、△鯨二百頭十萬圓△…十ケ尾六萬圓△鯛三萬尾六千圓△…圓△三…合計九十四万二千圓尚其他雜魚の收穫も亦鮮少ならずといふ

▲相談の相談▼

（何んでも御相談に應じ升）

◎問● 私は此の頃京城に參りました者ですが過日晩餐を認むべく浩然の氣を養ふべく永樂町邊の料理店に遊びに參りました所が意外にも兄の歿後行衛不明であつた嫂が其の家で酌婦を爲て居るのに出會ました私は一酒を飲んでも肴を食べても美味さ感じませんでした然るに本人の姉は何うであるかと云へばモウ良心が痲痺し盡したものか現在の義弟たる私をも客に爲かねまじき素振りが見へる私が思ひに沈んで浮かぬ顏を見ても隣りの家で屁を放つた程にも感じませず聞くに堪はぬ卑猥な歌を唄ひ酒を呷るのです客となつて其の嫂の亂行を目の前に眺めた私の心の裏は察しを仰ぎたい其處で私は堅く誓つて此の嫂を此の境界から救出さうと決心しました、決心は致しましたが第一金のないのに困却致して居るので何うしたら宜しいから御相談致します（新來生）

◎答● 深く御同情致します、が現在の事計り申越しで此れある以前の家庭の事情、御生家の家庭（嫂さんの）の事情姉さんの性行等を知ることが出來ませんのでた姉さんの墮落の徑行を詳かにすることが不能です從つて根本的救濟の方法を講究する材料が御座いませんのを遺憾とします、雖然れ申越しの實在の事情のみで推しまするに何故貴君は其の夜何故姉さんのれ客になりませんでしたか如何に良心麻痺したりと云へ現在の義弟をれ客に取らうと云ふ考への出るものでない夫れには必ずや闇燈影淡き双曲摩裡に他人には見せぬ誠の涙に其の此所に至つた徑路を物語つて共に倶に思ふ樣泣きもし泣いて貰はうとの結構であつたに相違ない、然り僕は斷じて其の然るを主張する救濟策を講ずるのは其の上でなからねば枝葉に亙るのみで患部に大斧鉞を加ふることは出來ません、又實際貴君の言はれる如く心底から墮落したものであれば小刀細工の救濟が役に立つものでない、要は今一度姉さんにれ逢ひになつて――蔑視でなく――同情を以て其れ心持ちをた尋ねなさいさすれば區々たる救濟策位ひは七つも八つも胸に湧きます、好んだ墮落ならば其の時は泣いて馬稷を斬るの故智を學べ誰れか足下の不快を云爲せんや、解せりや（係）

●彩票に關する取締

▲ドシ〳〵檢擧の方針 湖北其他の彩票は近來韓國に於ける大運、非常に賣行き多く今憶かなる筋の調査に依れば京城及び龍山のみにても一ケ月□ノ千圓の賣行あり一ヶ年なれば約十萬圓内外をムザ〳〵清國へ持行かれる有樣にて斯くては經濟上の打擊は勿論風紀の上に於て甚だ敷紊亂の虞れあれば其筋に於ても日韓人共に進んで檢擧する方針なるが刑法第百八十七條に富籤を發賣したる者は二年以下の懲役又は三千圓以下の罰金に處し富籤賣買の取次を爲したる者は一年以下の懲役又は二千圓以下の罰金に處し前二項の外富籤を授受したる者は三百圓以下の罰金又は科料に處すとあり尤も彩票が富籤と同一なるは勿論なり右の如き重刑を適用せらるゝ者なれば彩票を買つて一攫千金を夢みるの輩は大に注意を要す可く尙は彩票授受者はあらゆる階級を通じて頗る多く中には身分ある人の妻女等が内所で樂み半分に買ひ居る向きも多々ある見込なるが此際斷念せざれば悔いても及ばざる破目を見んとも限られず

●郵便物の大延着

▲京城市内で十四日間 京城光化門郵便局四度支部建築所發にて京城本社宛十二年六月五日午後三時の消印ある本社宛の郵便物が四十二年六月十九日本社に配達さる其間實に十四日を要したり

●君香の大當り

仁川敷島遊廓朝日樓の君香と云ふは何日もれ茶の引詰にて頓んと客も付かざりしが此頃に至り仲居さん質屋に行つて之れを皆出して頂戴なそれから松屋に電話をかけて柄の良い浴衣地を持つて來る樣に等と馬鹿に景氣附きて他の女郎共を羨やまがらせ居れるが今其理由を探つて見れが此の頃林田旅館に投宿せる廣島生れの中川正雄（十九）とて郷里は相應に財產を有し居れるが實母は先年死亡し今は繼母のれ何と云ふが家政を切り廻し居るにぞ正雄は面白ろからざる儘債券千圓余りと銀行より數百圓を取り出し去る十四日仁川に來り林田旅館に投し同鄕人の某店員と鱗に至り笑子、福太郎杯を揚げて大散財をなしたる末朝日樓に至り君香を買ひたるが病み付きとなり正雄の行かざる時は君香より旅館に出掛くると云ふ始末にさてこそ君香の景氣の好い譯は解つたなれど金のあるに任せて濫費する正雄の行末こそ思ひやらる

●怪しき外人

京城市中を荒し廻はりたる稀有の外人强賊一名が仁川に降れりと昨日京仁某々紙に記載せられたるより市民の憂慮するものありしかば本社通信員は仁川署に至り其の形跡を尋ねたるに右は去…り仁川に來たるものにして紐育生れのジョンプランミー（三十）と云ふ木夫にて仁川在留の外人を訪ひ金品を強請し居ることを仁川署刑事が探知したれば同地各國警察署長に打合せの上常に尾行し居たる所去る十四日の夜萬石洞方面より牛角洞に至り岩本牛乳搾取場附近にて夜を明かし翌十五日早朝常に出入りする支那町角のビーヤホールに至り京城に行くと稱し同日正午出帆の信濃川丸にて大連に向ひたる由なるが仁川に於いては何等の罪跡なく唯だ一種の乞食なりしと

●海賊二名捕縛

仁川署管内喬洞派出所員の許に去る十七日早朝江華島檢島沖に於いて同島居住の曹石任なるもの、持船に數名の海賊現はれたりと急報するものありたれば仁川署員は時を移さず小船を漕ぎ同沖合に至りたる所二名の海賊は未だ掠奪をなし居たる所なりしかば直に引き捕ねたる由なるが右賊中吳承俊（二十）とて短銃を携帶し今一名は姜根官（三十）と云ものなりしと

●紳士の遊興振

右は紙面の都合に依り本日休載

●女房の大働き

本町七丁目百十九番地菓子商藤本茂八方にて一昨日午後十一時頃中庭に釣りありし洋燈墜落せし爲一面の火となりアワヤ大事に至らんとするより茂八は大聲を揚げて火事よ〳〵と喚きたるより寢臥中なりし内縁の妻稻谷よしが飛起き衣類を打振り〳〵驅け來り隣家の者と協力して漸く消し止めたりしが其際よしは股部以下に火傷を爲し治療二週間を要すると

●只飲の大凹み

南大門通三の一八待合紅葉方同居瀨戶啓一（三十）は一昨日午後二時頃明治町三丁目飲食店橋亭に至り二圓六十五錢の飲食を爲したるも懷中無一文にて支拂出來ざる爲め南部署に突出され其儘留置さる

●自轉車乘の違反

長谷川町一の三三ペンキ塗職中川勝馬（三十）は去る廿日午後九時四十五分頃本町一丁目に於て號笛の裝置なく且つ燈火なくして自轉車に乘用通行なしを查公に認められて告訴さる

●旭町の素人相撲

旭町一丁目民團役所裏手の空地に土俵を築き毎夜素人相撲を催し居れるが勿々の盛況なりさ尙は右は娛樂の爲めなれば元より飛入勝手次第入場も隨意なりと

●兎の主はドーコ

昨日午前二時頃本町十丁目に於て飼兎一頭徘徊なし居るを同派出所の巡査が拾ひ南部署に保管中なり

●公判だより

法務院に於ける明二十三日の公判左の如し

一民事（午前十時）上訴人田淵保太郎被上訴人玉川多三郎間賣掛代金請求

一刑事、窃盜殺人等被告人中家節三郎窃盜山谷三之丞言渡傷害被告人住田孫市委托金費消詐欺取財被告人久保田淸治

演藝界

▲壽座● 浪花節讀物は前日の續き琵琶は臺灣入を演奏する筈

▲藝妓芝居 中檢披露演劇中井門樓藝妓の出し物及び役割は左の如し

「一番目阿古屋三曲」遊君阿古屋（蝶々）畠山重忠（政子）岩永但し人形振（雛子）人形遣（喜多八）榛澤六郎（奴 捕手（千代、喜代）釣人形（蜻蛉、奴、玉蝶、千太郎）

「二番目近江源氏八段」佐々木盛綱（蜻蛉）婆（喜多八）小三郎（喜代）小四郎（千代）和田兵衛秀盛、早替り注進及盛綱の妻（權助）注進（蝶々）篝火（雛子）北條時政（政子）

「三番目御所櫻三段」辨慶（蜻蛉）侍從太郎（權助）花の井（千太郎）たわさ（喜多八）信夫（蝶々）京君（小糸）

「四番目鬼一法眼三畧卷」鬼一法眼（蜻蛉）寅造實は牛若（雛子）智惠内實は喜三太（喜多八）皆鶴姬（蝶々）腰元

▲歌舞伎座 本日の替りは前「加賀見山古鄕錦繪」切「鬼一法眼三畧卷」にして重なる役割左の如し 局岩藤、水奴（貫笑）桐島、牛若丸、尾高（求女（琴樂）關屋（高笑）陰陽師門術（多見治）彈正、智惠内（雀三郎）軍次平、笠原深海（鷹治）宗光院（瑚作郎）中島主税、水奴（三河藏）大月傳造、鬼一法眼（市當）れ初、皆鶴姬（米花）五月（嘉雀）左枝（市猿）吳竹（玉若）中老尾上（歌之丞）



自轉車大安賣

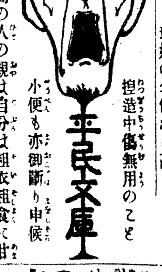
角商會代理店

前川自轉車店

京城南大門橫

△珍無類の姓名▽

伊豫松山市の開業醫に珍妙有之と云ふがあり又同市の陸軍豫備兵に正月十三丸（ムツキトミマル）と云ふ男あり然るに十三丸此程自轉車にて橋上を通行中誤つて河中に墜落し之れが同地の新聞紙に記載されてより珍妙の名餓かに高まる



平民文庫

捏造中傷無用のこと

小便も亦御斷り申候

▲普通世間の人の親は自分は粗衣粗食に甘んじても兒や孫には成る丈け他人と肩を並べても恥かしからぬ丈けの服裝を爲せたいと腐心するものであるが我伊藤公は反對である自己の後繼者曾禰新統監を任地に送るのに軍艦差し回しの奔走さへせぬ出來ぬシハショなら格別だが、曾禰さんも賴もしからぬ親爺を持つたものだと僕は暗涙に咽はざるを得ぬ（くれがし）▲京城の韓國側の役所の會計課に居る腰辨共は事務が捗らぬで困る少し上官たる者注意したら宜しからう（商人總代）▲南山の美人茶屋のハイカラ娘さんよ餘り客にものを勸めると人氣に障りますよ（寶見生）▲京城座の吉野君よ余りに近所の料亭荒し少し愼み給へ（一知友）▲京城に於て掛け看板の振はざるは旭町の橘煉瓦販賣所のと本町の憲兵分遣所の夫れとが兩大關だらう（閑人）▲本町通り藪蕎麥のれ秋さん浮氣は良い加減に愼まんと素破拔くぞよ（岡燒生）▲先日或る小料理屋を素見たら宿つて行けと云つた其所で僕は小夜嵐が恐いからと云ふとナーニ今の間は大丈夫だと云ふ何うしてだと聞いたら署長さんが留守ですものと濟ましたもの彼れ等は勿々警察事情に通曉るいものです（感心生）▲其所で安心して宿つたかね（小僧）▲ドントコイ生と指頭觀相生との指環論はなか〳〵面白い僕は何うしてもドントコイ生の勝利に歸すならんと思ふ指頭觀相生はヨリウエさ言つて居るが二個以上あれば無論二ツも加はつて居る小僧君は何れが勝利と思召すや（テー、ワイ生）▲角力は此れからだ未だ私の出るには早い、八百長角力は禁物だ、ハツケヨイヤ殘つた〳〵（小僧）▲壽座の改良浪花節を聞いたが美ざりの官員小僧は一寸聞ける何んとなれば十七八の頗る美人なるが故に、彼れは米丸の娘だそうだよ娘を持つて幸福だ、次に井上生の琵琶赤垣德利の別れで「携へ來にし德利酒涙と共に飲みながら」の一節は僅かに聽衆に涙を零さした（待つてました生）▲謹んで歌舞伎座の大當りを祝して一つシメますから皆さんた手を拜借へ（同情生）▲南大門通りの朝市場に擔軍夫か蒐集して居るのは或る意味に於ては甚だ便利だが或る意味に於ては甚だ迷惑を感ずる豆を五合大根を一把買つても直ぐに五六人の小擔夫軍の包圍を受ける其の攻擊が又頗る猛烈を極めるので婦人なぞは泣き出さん計りである組合でも作らして取締方法を設けて欲しい（女房の代理）▲至極贊成（小僧）



●天氣豫報（自廿二日午後六時至廿三日午後六時）

南西の風曇後晴

廿一日 最高溫度 八五、六 最低溫度 六二、二（華氏）

廣告

各種洗濯石鹸
專門製造販賣
陸軍、鐵道、船舶、鐵工、鑛山、水道、諸工業用
京城旭町一丁目（電話九七三番）
朝日石鹸製造所

▲無料紹介欄▼

人事部
●賣子募集 廿歳以上男子六名入用 旭町一の六〇 旭町競賣所（二八〇）
●求妻 年齡廿歳より廿六歳迄位にして品行方正身体强健なるもの男三十歳には杭類なし月收六十圓 氏名在社（二八七）
●被雇度 年廿五永年大坂にて商業に從事す店飾りの心得あり給料不望確實保證あり 氏名在社（二八三）
●小僧入用 十五六歳にて身体强健なる者至急入用 氏名在社（二八五）
●正派薩摩琵琶研究會 授敎希望の方は申込あれ 京城壽町一八番戸 會主 有馬良熊（二八八）

物件部
●電話讓受たし 本町民團役所前 佐々木
●賣家 京畿道利川郡利川に諸營業に適當の家屋あり地所共に金二百圓にて賣却す 京城三角町三 山内（二八二）
●コースター付上等自轉車中古格安に賣却し度し 氏名在社（二八六）

廣告

梅毒專門
皮膚病一般
痔注射療法（不要入院）
京城南大門朝市場櫻家旅館内
神戸養生院長
出張診察所
院長府立大坂病院專攻
元兵庫縣立福原驅梅病院醫長
醫學得業士 蘆田耕平
○貧乏しき病者には割引又は施療を爲す

移轉廣告
今般業務擴張の爲め左記の處へ移轉す
南大門外御成町紅葉館跡
（茂呂運送店前）
開通 戸田病院 電話九三八番

鑛物鑑定及分析に從事す
本所は江湖の依賴に應じ誠實迅速に鑛物鑑定及分析に從事す
手數料は鑑定一件五厘郵券送付次第送呈す
擔當者は元鑛山監督分析署技師粟野德一
路通一丁目
漢城鑛物分析所
（電話二三八番）

東洋總代理店


麻原京城支店
電話八四〇番

大勉强
改良御料理
御一人前
金五十錢均一
御酒 御肴 二品 三品
西小門通り
東京樓

入院隨意
諸般の設備を改善して一般診療に從事す
院長內科小兒科部長 安藤一郎
皮膚病 花柳病 外科部長 醫學士 鶴田善重
產科婦人科部長 醫學士 山添喜藏
耳鼻咽喉科部長 石田代誠
診療時間每日自八時至後二時（但日曜大祭日休業）
京城明治町一丁目
電話十二番
漢城病院


京城光化門通
淺田洋服店
店主 大島專藏
（電話四百十三番）

胃腸消化新劑
澱粉消化 ギヤスタリン
蛋白脂肪消化 チゲスチン
錠劑十日分（三十粒入一瓶）二十錢
散劑一オンス入（一瓶）一圓二十錢
錠劑十日分（三十瓶入一瓶）三十錢
散錠一オンス入（一瓶）一圓四十錢
右は最近内地に於て急激の需用を來たしたる名聲嘖々たる世界無比の理想的絕品にして所謂賣藥には無之候
各地有名なる藥店に於て販賣す
●大韓醫院御用藥
韓國一手賣捌元
京城光化門通
大島專藏

代理店設置廣告
今回京城本町一丁目裏通韓國實業株式會社京城支店（電話十三番）岡内淸一殿へ本社漢城代理店を依託し京城及其附近に於ける火災保險契約を取扱はしめ候
明治四十二年六月五日
東京市日本橋區檜物町五番地、六番地
火災海上運送保險
共同保險株式會社

移轉第二回大賣出
●六月廿一日より卅日まで 正札より六步引
●弊店特賣 關戸かや 本年初賣出しにつき特に一割五步引の破格メチヤ〳〵
●見切品 澤山オマス
關戸蚊帳株式會社韓國代理店
京城本町一丁目憲兵隊前
かや、わた 太物商 ㊇ 桑原支店
電話四八三番
●ふさん調進仕候

龍山萬歲旅館
元町一丁目
電話四〇番

瑞西タバン時計
米國ウォルサム時計
米國アンソニヤ時計
明治時計製造會社
掛置時計
韓國特約販賣店
時計自轉車御部
京城本町三丁目
喜多金光堂本店
時計小賣部
京城本町二丁目
喜多金光堂支店
電話架設中

明治廿年七月創立
東京火災海上運送保險株式會社
資本金一千萬圓
京城代理店 本町四 山口呉服店 電話九
事務所 京城本町二の三電話一〇六〇番

醫業科目
活版活字鑄造
石版銅版
木版彫刻
コロタイプ版
寫眞版
罫線
製本裝釘
今般日韓圖書印刷株式會社ヲ日韓印刷株式會社ト改稱致シ候ニ付此段乍憚御披露申上候
日韓印刷株式會社
本社 京城明治町三丁目 電話（三二三番）
東京出張所 東京京橋區南鍋町一ノ十 電話新橋（三九六二番）

桶類製造大安賣
明治町一丁目橫町通
矢野商店

新荷着廣告
歐州各國帝室御用品
品質優等、意匠艶麗、
GD印トルコ金口煙草（百本入 十本入）
外各種 百本入、二十本入、十本入とも
右今般多數入荷致候に付精々廉價發賣致候間多少に不拘御用命願上候
追て見本品並に價格表は御申越次第御送附可申上候
直輸入元
仁川本町一丁目
トルコ煙草商會
電話（七一五番）

消毒
元祖牛乳
殺菌
京城大和町壹丁目
玉山牧場
電話一三三

㊐開業御披露
會席御料理並仕出し
會席御一人前金五十錢
（但御酒一本附）
其他御客樣の御好に應じ調品仕候
尚來る十五日より開店御披露として向三日間一割引券
六月
北米倉町（富田賓店樓）
岡乃家
（電話架設）




特約販賣 自製
漬物 味噌 醬油 製造元
京城本町五丁目
大上商店
（電話二五一番）
和洋酒、㊀精酎、穀物麵類、銘茶、罐詰、乾物荒物、食料雜貨、ビール、米糀、塩辛各種特約販賣
尚御望に依り商品切手調進仕候

御披露
高等會席 冷ビール付
御一人前一圓
明治町三丁目（東拓會社下隣）
一力

○氣候變化＝牛乳
○牛乳＝純良＝消毒
韓國畜產株式會社
南大門外（電話八八番）

鴨綠江特種木材九州セメント取次販賣
木口一尺八寸以上長さ五間迄其他各種材
京城旭町三丁目
建築業 柴田芝六
電話五六八番

▲清潔の下宿▼
客室の淸潔ご調理の美味ご御扱の懇切こを特色こして下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候
壽町二丁目十番戸橫小路（元花屋跡）
かめ屋
▲懇切の下宿▼

特及御用
大韓醫院御用
消毒 純良 牛乳
荒井牧場
電話一〇五

本郵船株式會社
仁川出帆廣告
貨物及船客取扱店
仁川海岸通
郡回漕店
電話三九番

釜山浦經由門司神戸行 山東丸 七月四日午後二時出帆
大連、太沽、牛莊行 高砂丸 七月一日正午時出帆
大連、大沽、牛莊行 山東丸 六月 日午前十時出帆
大連、大沽、牛莊行 酒田丸 月 日
釜山出帆、元山、淸津、浦鹽行 立神丸 月 日午後
御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜可申候

●新聞料 一ケ月前金六十錢 一枚金二錢 六ケ月前金三圓
●廣告料 五號活字十九字詰一行一回五十錢 廣告五號活字十九字詰一行金六十錢
發行兼編輯人 秋山忠三郎
印刷人 高木久馬太
發行所 京城西小門通 京城新報社 電話六三番